

ダイコート 標準施工要領書

1	素地調整 ケレン	ダイコートは、素地に密着すると最大限に効力を発揮しますので、できるだけ素地を出すようにケレンして下さい。 旧塗膜のある場合は、密着した活膜は残せませんが、古い膜や浮き膜は完全に落として下さい。
2	塗装	刷毛、ローラー、吹付塗装(エアレス)、いずれも可能です。 エアレスの場合: 空気圧 5~6kg/cm ² 、口径 1.3~1.8mm、ホース内径 9mm以上
3	塗布量	ドライ膜厚250~300ミクロンの膜厚 0.5kg/m ² (60m ² /缶)の塗布量で塗装して下さい。
4	防錆処理	ダイコートは、それ自体で防錆力をもっていますが、発錆のある場合は下地の状況に応じて錆止塗料を塗装して下さい。 弊社取り扱いの変性エポキシ樹脂防錆密着プライマー「サームプライマー」をお勧めします。
5	希釈	希釈は専用シンナーで0~10%程度希釈して下さい。 アルミ分が沈殿していますので攪拌機で底から全体を十分攪拌して下さい。
6	乾燥	接触 30~60分 完全乾燥 1~2日
7	注意事項	塗装時に多少の色ムラが出ますが、日が経つにつれてムラが消え、色調が安定します。 降雨が予想される時は塗装を避けて下さい。